

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

362

ふりがな 氏名	やすい じゅんが 安井 淳雅
所属先	所属先名称 光都農業改良普及センター
	役職名 主任
専門分野	捕獲手法 (侵入防止技術) (周辺環境整備) (地域合意形成) 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象鳥獣	(シカ) (イノシシ) (サル) クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) (ハクビシン) (アライグマ) (アナグマ) カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
対応可能地域	全国 北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国 四国 九州 沖縄 (その他※特定の都道府県、地域（兵庫県）)
免許及び資格	狩猟免許 (銃：取得年 年、(わな)：取得年2011年) 鳥獣保護管理（ ） 鳥獣保護管理士（ ） その他（ ）

活動実績	
活動期間	平成19年～現在
地域	兵庫県内
対策の種類 <small>※該当に○を記入</small>	捕獲手法 (侵入防止技術) (周辺環境整備) (地域合意形成) 野生動物管理 (生息調査含む) 処理 (焼却・減容化) 利活用 (食肉利用等) その他 ()
対象獣種 <small>※該当に○を記入</small>	シカ (イノシシ) (サル) クマ (ツキノワグマ・ヒグマ) (ハクビシン) (アライグマ) (アナグマ) カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣 ()
活動の内容	<p>○平成19年4月～平成23年3月：佐用及び光都農業改良普及センターにおいて地域の野生動物被害対策に関わる（農業者に対するシカ、イノシシに対する侵入防止技術指導、研修会開催、実証ほ設置等）。</p> <p>○平成23年4月～平成28年3月：森林動物研究センター業務部に所属し、森林動物専門員として①住民に対する被害対策技術の普及・支援、②獣害対策モデル集落づくりの支援、③県、市町職員を対象とした人材育成研修の実施、④ニホンザルの特定鳥獣保護・管理計画の作成、⑤ツキノワグマ出没への対応等の業務に従事。</p> <p>○平成28年4月～令和2年3月：加古川農業改良普及センターにおいて地域の野生動物被害対策に関わる。</p> <p>加古川市、稲美町ではイノシシの分布拡大と共に被害も拡大し始めた状況にあったため、市町と県の鳥獣担当者と共に現場での状況確認を行うと共に、地域住民に対する被害防止対策の進め方について助言を行った。</p> <p>また、いちご、スイートコーン等の施設野菜、露地野菜でアライグマ、ハクビシン等の中型動物の被害が目立つため、JA兵庫南、JAあかしの生産部会員に対して、被害対策研修会（生態、電気柵を主とした侵入対策、捕獲の考え方等）を開催した。地域の農業者は都市近郊地域であるため、野生動物について、生態、被害対策にのノウハウが少ないため、具体的な対策を知ってもらうため、新規就農者のいちご栽培ハウスでアライグマ被害対策展示ほを設けた。展示ほでは電気柵「楽々くん」を設置し、センサーカメラで定期的に出没状態をモニタリングした結果、実際に撃退する場面も確認され対策の効果を実証できた。</p> <p>○令和2年4月～現在：光都農業改良普及センターにおいて地域の野生動物被害対策に関わる。</p> <p>管内には農地が複数集落にまたがる大規模水稻栽培農家が多いが、シカ、イノシシ侵入防止対策での柵の設置、維持管理は集落によって差があり、被害が特定の集落の農地に集中することがある。その集落での対策を進めてもらうためにセンサーカメラを設置してシカ、イノシシの出没状況をまとめて資料提供し、集落での合意形成を支援した。</p>